



本ばこ

ほん

—新刊教材・図書紹介—

しん かん きょうざい と しよしょうかい

新書を通じて読む楽しさと知的発見の喜びを味わうための案内書

『日本語力をつける文章読本 知的探求の新書30冊』

編著者：二通 信子, 門倉 正美, 佐藤 広子

出版社：東京大学出版会

URL: <http://www.utp.or.jp/>

発行年月：2012年8月

ISBN: 978-4-13-082017-2 判型・頁数：A5判 260頁 定価：1,995円(税込み)



本書は、日本語力を伸ばしたいと思っている高校生、大学生、留学生が、新書を読むことを通じて、読む楽しさや知的発見の喜びを味わいながら学ぶことをめざしています。そして、この本をきっかけに、さらに新書によって読書の世界を広げる機会が与えられるようになっています。

新書は、文庫本と並んで、(日本国内では)比較的かんたんに手に入る本です。古典を中心として文学作品を多くあつかう文庫と対照的に、新書は「現代的教養」と「新しい学問への入門」を特徴とします。また、専門書に比べて、分量も少なく、やさしく書かれているので、読みやすいです。そのため、新書をきっかけに関心を広げ、知識を深めていくことも可能なので、教室で取り上げるには最適でしょう。

この本では、「日本の社会のさまざまな側面」や「学問の世界の新しい課題」に関して岩波新書、光文社新書、ちくま新書、講談社現代新書など12種類の新書が取り上げられています。

▽5つのテーマにより30冊の新書を紹介

本書の構成は、「読むことの楽しみ」、「日常生活を振り返る」、「日本社会の問題を探る」、「学問の世界に触れる」、「クリティカルに読む」という5つのテーマのもと、テーマごとに6冊ずつの新書が紹介されています。

各タイトルは書名、著者紹介、本の紹介に続き、5~6ページの本文(3,000~4,000字)が、注とともに掲載されています。

その後には、「考えてみよう」というコーナーが続き、各新書の内容理解、語彙や文体、内容をさらに発展させる等の問題が3問出題されており、巻末には解答(一部)が付されています。

最後の「さらに読んでみよう」のコーナーでは、トピックに関連する新書3冊が紹介されています。

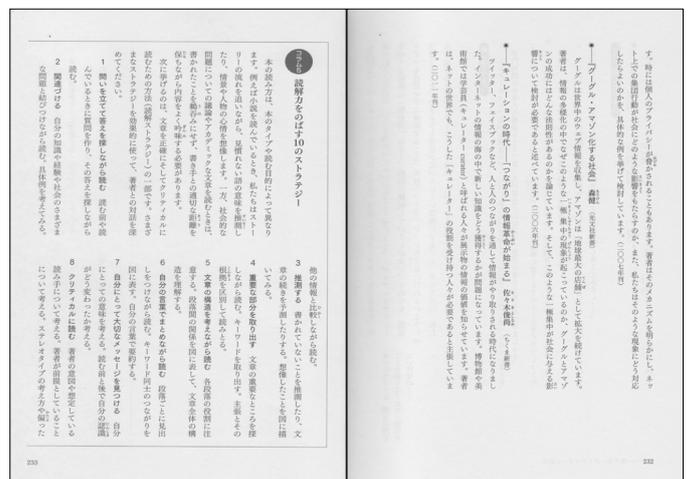
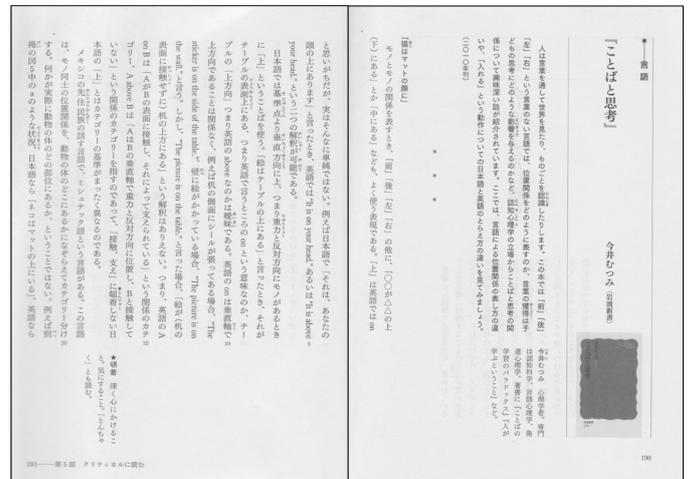
その他、「コラム」が5編掲載されていて、「本の楽しみ方」や「新書の特長」、「読解力を伸ばすためのストラテジー」などについて述べられています。

▽本書の活用法

「『読み』の場を作る」というのが編著者の意図ですが、この本は、

文型や語法の習得に重点をおいた読解を離れ、目的(知的理解、内容重視、味読、精読、エクステンシブ・リーディング(extensive reading))を重視した「読み」、あるいは、「読み」から「話す」「書く」などの「産出」をめざす授業のためのリソースとしても活用できる可能性をもっています。

また、教室を離れての自立的なグループ学習で使用することもできるでしょう。



このコーナーの担当者：生田 守 / 日本語国際センター専任講師